

3 ♿ ♫

HELLO,
NEW
CITY.

交通未来都市うつのみや

LRT START BOOK



これからも安心して便利に暮らすため、
まちの姿も時代の変化に合わせて進化していくことが大切です。
芳賀・宇都宮の新しい公共交通LRT(Light Rail Transit)が目指すのは、
子どもからお年寄りまで、誰もが自由にスムーズに移動できるまち。
鉄道やバス、クルマとともに、住む所・働く所・暮らしに便利な所をつなぐことで、
人の流れを活性化し、将来まで活気あるまちをつくれます。

まちが変わる。毎日が変わる。

LRTから始まる次の暮らしにどうぞご期待ください。

INDEX

- 4-13 LRTがある毎日
- 14-15 LRT車両ライトライン図鑑
- 16-17 ルートマップ
- 18-21 Q&A
- 22-23 インフォメーション



JR宇都宮駅東口停留場イメージ



清原工業団地LRT導入イメージ

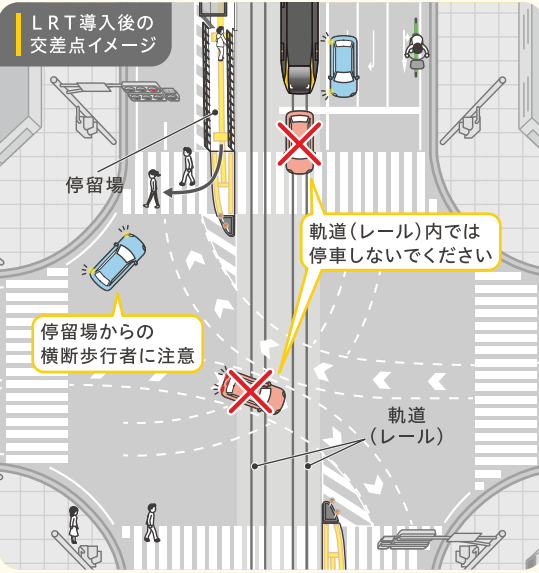
An illustration of a modern Light Rail Transit (LRT) train at a station platform. The train is sleek and blue with yellow accents. In the foreground, two young girls in school uniforms (blue jackets with red bows and grey skirts) are walking on a purple escalator. One girl is holding a yellow umbrella. In the background, other people are visible on the platform, including a man in a blue suit and two children with backpacks. The scene is set in a bright, sunny environment with a blue sky and white clouds. The entire illustration is framed by a yellow border.

当たり前のことをちゃんと。

LRTがある毎日

晴れの日も、雨の日も、おなじ時間で。

芳賀・宇都宮の公共交通に新しく加わる次世代型路面電車システムLRT(Light Rail Transit)。LRTは軌道(レール)と呼ばれる専用の空間を走ります。そのため、悪天候や他の交通手段による渋滞の影響を受けにくく、時間に正確な運行が可能です。



※交差点での注意ポイントをまとめたイメージ

スムーズで安全な運行のために。
バスやクルマは軌道内を走れません
 例外としてクルマが右折、左折、横断、転回のため軌道内を横切の場合や危険防止のため、やむを得ない場合などは軌道(レール)内を通行できます。

クルマの運転席から見たイメージ



誰にでもわかりやすい表示で。
LRTの信号機は？
 交差点ではクルマと同じように、LRTも信号機により交通を規制されます。

クルマとLRTの信号表示の例



今日のあなたは、どれで行く？



LRTがある毎日

これからは目的に合わせて 移動スタイルも変えていける。

LRTが新しく公共交通に加わることで、移動手段の選択肢が増えます。
通勤などの毎日の決まった移動やお酒を飲む日は公共交通で。誰かを送る・迎えに行く日はクルマで。
充実した運行サービスにより、その日の予定に合わせた移動スタイルを選べるようになります。

すぐ次が来る。いつ来てもすぐ乗れる。
ピーク時は6分間隔



LRTは、ピーク時（朝6時～9時、夕方17時～19時）で6分間隔、それ以外のオフピーク時は10分間隔で運行します。

“いってきます”から“ただいま”までを、一緒に走る。
始発は6時台／終電は23時台



LRTは、JR宇都宮駅の新幹線の始発（6時台）から終電（23時台）に合わせた時間帯で運行します。

時間が見えると、予定が立てやすい。
主な停留場までの時間と運賃



所要時間と運賃（宇都宮駅東口から）

停留場（名称は仮称）	所要時間	運賃
→ 宇都宮大学陽東キャンパスまで	約11分	150円
→ グリーンスタジアム前まで	約27分	300円
→ 芳賀・高根沢工業団地まで	約44分	400円

※所要時間は普通運転時

（2021年12月時点／詳細は国の認可等を経て決定）

An illustration of a modern Light Rail Transit (LRT) train at a station platform. The train is white with large glass windows and doors. A diverse group of passengers is shown: a woman in a white top and yellow skirt pushing a red stroller with a child inside; a man in a blue shirt and white pants walking; an elderly woman in a pink top and brown pants; and an elderly man in a green jacket and hat using a cane. In the background, there are modern buildings and a clear sky. The scene is set on a platform with a yellow tactile paving strip.

さあ、誰もが乗りやすい毎日へ。



子どもからお年寄りまで
誰にでも優しい停留場

3

LRTがある毎日

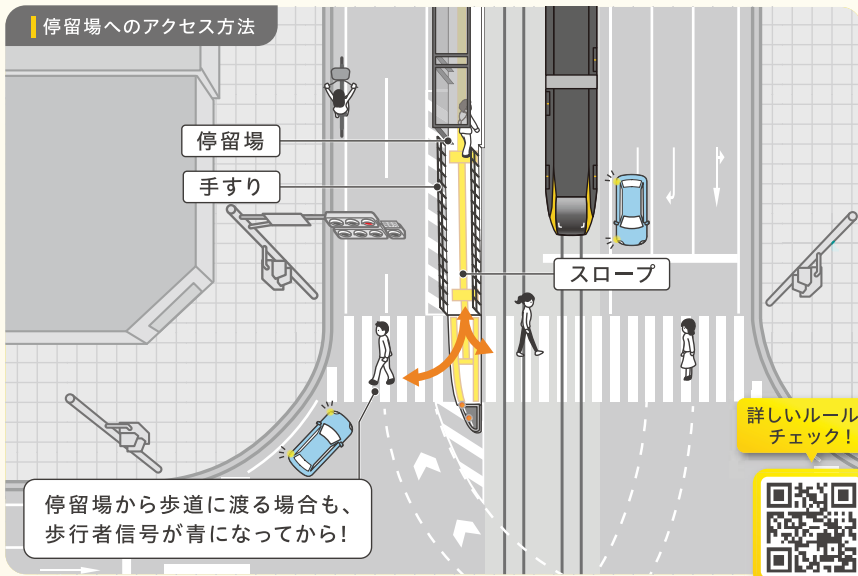
段差が無い、 つまりみんなに優しい乗り物です。

LRTの停留場は地上から30cmの高さ。

LRT車両の乗り降り口も同じ高さに合わせるので、停留場と車両の間に段差はありません。

また、停留場は雨風を防ぐ屋根等がつき、スロープや手すりを設けることでバリアフリーにも対応しています。

停留場へのアクセス方法

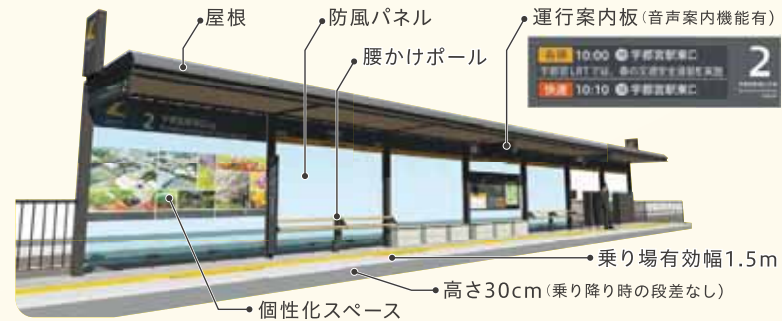


待つ時もみんなに優しい。

停留場は100%バリアフリー

停留場は誰でも利用しやすく、安全で快適にLRTを待つことができます。また、壁面の一部を活用し、沿線の特徴等をPRする「個性化スペース」を地域住民の皆さんと考えながら設けていくことで、地域に根付き地域に愛される施設を目指します。

停留場イメージ(相対式の場合)



これ、1枚で。



LRTがある毎日

支払いが、乗り継ぎが、スマートに。

LRTやバス、鉄道で共通して使える地域連携 ICカード「totra」が導入されました。
 乗り降りする時の支払いも、LRTからバスや鉄道に乗り継ぐ時も、財布や小銭を探さずカード1枚で対応可能。
 毎日たくさんの方が利用しやすいように宇都宮の公共交通はもっとスマートに変わります。

公共交通全体がより便利にスムーズに。

共通して利用できる地域連携 ICカード「totra」を導入

鉄道やLRT、バス、地域内交通などの公共交通を相互に乗り継げる「totra」をぜひご利用ください。高齢者外出支援などのサービスに加え、乗り継ぎ割引など、より便利な地域独自のサービスの提供を目指していきます。



※SuicaやPASMOなどの全国相互利用サービス対象の交通系ICカードが使えます。
 ※「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。※「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。

どの扉からでも乗り降りできる。

全ての扉にICカードリーダーを設置



全ての扉で運賃の支払いが可能なので、車内を移動しなくても近くの扉からスムーズに乗り降りすることができます。



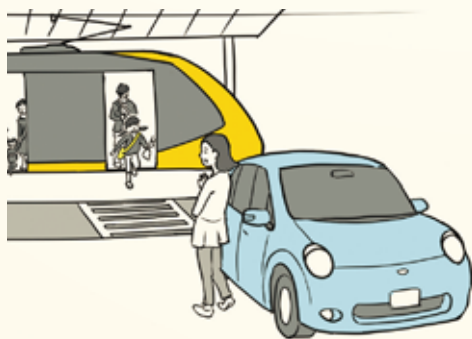
つながる、
広がる、
変わっていく。

免許がなくても、運転が不安でも、 まちや人ともっとつながっていける。

LRTの主要な5カ所の停留場付近には、バスやクルマ、自転車などの乗り換えが可能なトランジットセンターを設けます。公共交通ネットワークの軸となるLRTと、各地域に伸びる移動手段がスムーズに連携することで、まち全体の公共交通が便利になり、毎日の行動範囲が今まで以上に広がります。

送迎スペースや駐車場を整備。

送り迎えも もっと便利に



トランジットセンターをはじめ、送迎スペースを設ける停留場(例:飛山城跡停留場)では、家族の送り迎えも便利になります。

停留場の近くに駐輪場を整備。

自転車を置いて すぐ乗れる



よりLRTを利用しやすくするため、公有地の活用や民間企業との連携を図り、全ての停留場近くに自転車の駐輪場を整備します。

バスネットワークを充実。

LRTやバスがつながり
行動が広がる



LRTのルートと重なるバス路線の一部を郊外部などに割り振ることにより、バスネットワークを充実させます。また、バスの上限運賃制度やLRTとバス、地域内交通の乗継割引など利便性向上の取組を併せて実施していきます。

LRT 車両 ライトライン 図鑑

愛称「ライトライン」の意味・由来

「ライトライン」は、トータルデザインコンセプトから「雷都」を取り、「道筋」や「つながり」を表す「ライン」と組み合わせた愛称です。「(未来への) 光の道筋」といったメッセージも込められています。

パンタグラフ

- ・架線から電力を取り入れるための装置
- ・電気モーターで駆動するため環境に優しい

架線

- ・動力源になる電気が流れている

運転席

- ・ワンマン運転を予定
- ・運転最高速度は時速40km

ノーズ

- ・地域の個性である「雷」を表現する黄色が映える流線形の車両形状

レール

- ・軌道と呼ばれるレールの上を走る

乗降口

- ・全ての扉で交通ICカードでの支払いが可能

窓

- ・外の景色を楽しめるよう大きな窓を採用

貫通幌

- ・連結した車両の間を覆う部分で乗客の転落防止と風雨を防ぐために設置

専用空間を
走行するため

時間に正確!

車両は騒音や
振動が少なく

快適な乗り心地!

運賃

150円~
400円

運転時間帯

6時台~
23時台

運行間隔(1時間あたり)

ピーク時 | オフピーク時
6分間隔 | 10分間隔

洗練された
デザインは

まちのシンボルに!

乗り換え施設等の
整備で他の交通機関と

スムーズに連携!

(2021年12月時点/詳細は国の認可等を経て決定)



停留場で 乗り降り する時の 段差なし!

停留場の高さは30cm。車両の乗降口も同じ高さに合わせます。

停留場までは
スロープでラクラク



停留場数 / 19箇所

トランジットセンター
(乗り換え施設) / 5箇所

LRT車両
ライトライン図鑑

内装 ・シンボルカラーを活かした先進的なデザイン



※車内モニターには、設置場所に応じて利用案内や運行情報等が表示されます。

なぜ黄色になったの? ▶ シンボルカラーは “雷の稲光”がモチーフ

雷都を未来へ ~LRTによる未来のモビリティ都市の創造~

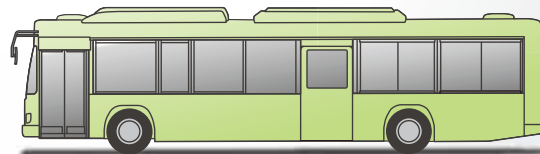
芳賀・宇都宮は「雷」が多く「雷都」と呼ばれています。「雷」は雨を降らせたり、お米を育てたり、まちにいろいろな恵みを与えてくれます。LRT事業のシンボルカラーは芳賀・宇都宮の恵みの象徴である「雷の稲光」をモチーフに、「雷」や「雷を受け豊かに実った稲」をイメージさせる「黄色」をメインカラーに採用。サブカラーは黄色を引き立たせる「黒」から「白」までの無彩色を用います。

クルマ
と
バスと
比べて
みよう



←コンパクトカー 約4m→

座席数50席



←路線バス 約10.5m→

LRT車両の
乗車定員
約160人



このルートを通ります。



なぜ、このルート?

LRTは宇都宮市域の東西方向を結ぶ公共交通の軸として整備します。そのため、地形の制約や他の交通との連携、クルマとの共存を考え、住む所や働く所(工業団地)、暮らしに便利な所(駅、商業施設)など多くの人が集まる場所を結ぶルートを通ります。

LRTは鉄道やバスなどにつながります。



なぜ、連携するの？

LRTとバス、地域内交通、自転車などが連携したネットワークを充実させることで公共交通での移動をスムーズにします。また、公共交通の軸となるLRTルートと重複するバス路線を郊外部などに割り振ることで公共交通が便利な環境をまち全体で整えていきます。

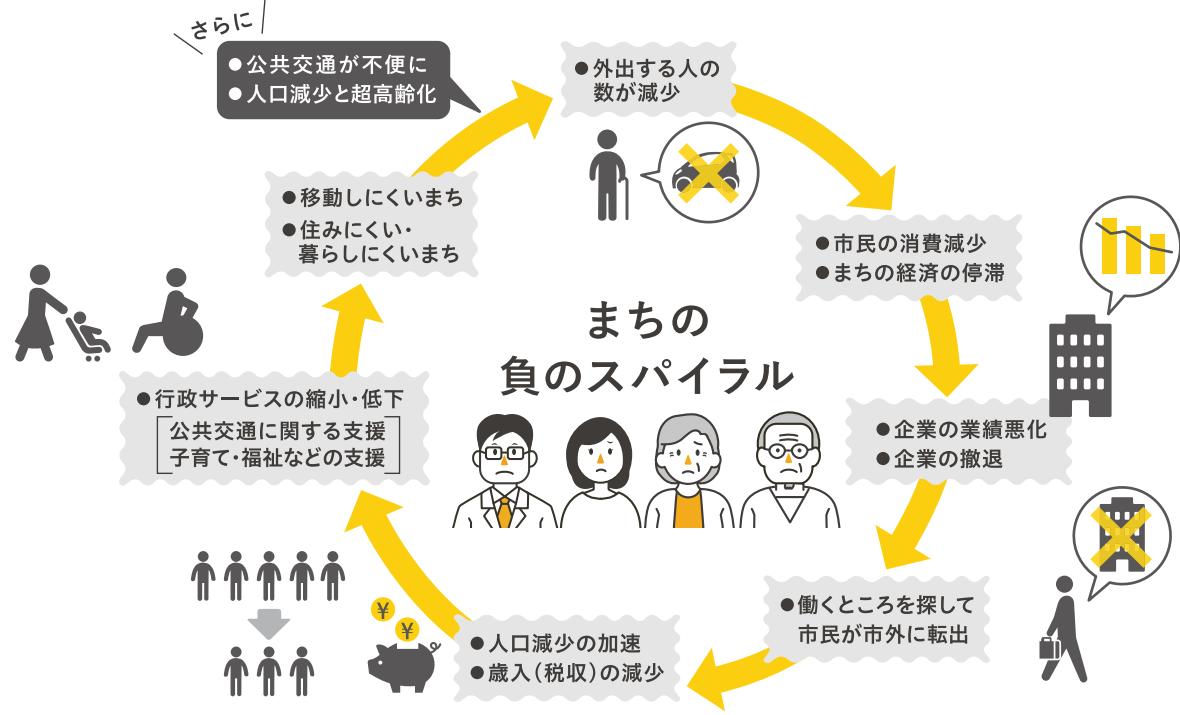
LRT事業に寄せら

Q 今のままの宇都宮じゃダメなの？

A 高齢者はもちろん、これからの宇都宮を支えていく世代が暮らしやすいまちになるためには、将来を見据えて誰もが移動しやすい新しいまちの姿に変えていく必要があります。

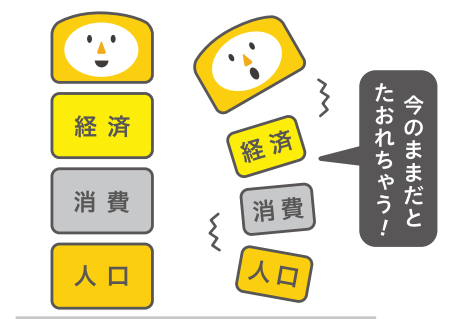
変えていこう！ 自由に移動しやすいまちづくりを

クルマは便利な乗り物ですが、このままクルマ頼みの社会では、免許を持ってない世代や運転に不安を感じる人には移動しにくいまちとなります。高齢化が進み働く世代の数が減る中で、外出や交流ができる機会が減れば、まちの活力も失われていくことになり誰もが自立して自由に移動しやすいまちに変わる必要があります。



変えていこう！ 消費を維持する仕組みづくりを

人口が減ると市内の経済は停滞し、地域サービスや企業活動が衰退します。まちが元気であるためには、人口が減る中でも消費を維持する仕組みづくりが必要です。



変えていこう！ みんなが安心して暮らせるまちに



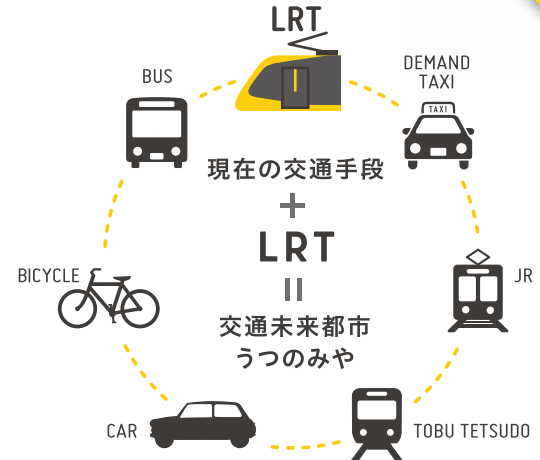
人が移動しやすいまちは市民の外出が増えることで、消費が促され経済が活性化するとともに、高齢者を中心に健康増進が期待できます。働く世代の移動に伴う負担を抑えながら、全ての世代が自立して移動できる社会をつくることで、みんなが安心して便利に暮らせるまちを目指します。

れる主な質問 (2021年12月時点)

Q LRTができると宇都宮はどう変わっていくの？

A LRTとバスや地域内交通などが連携した交通ネットワークを充実させていくことで、公共交通による市内の移動がスムーズになります。

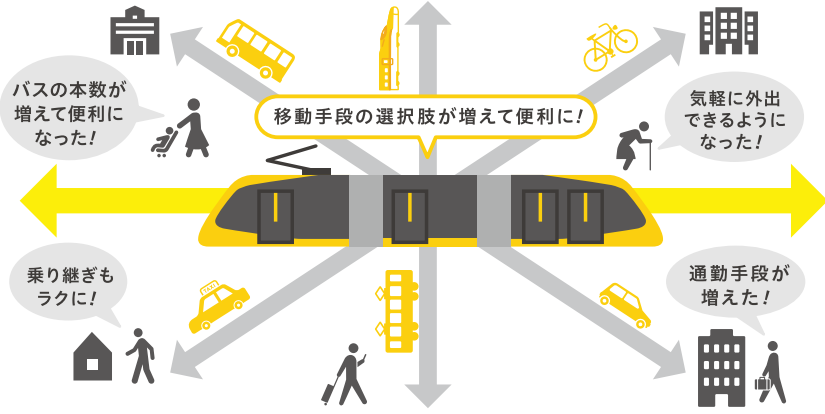
LRTを公共交通の東西の軸に
 時間に正確で利用しやすいLRTで市域の東西をつなぎ、新しい人の流れを作ります。あわせて地域の特徴に合ったバスや地域内交通などの移動手段を整備し、クルマに頼らなくても移動しやすい交通環境をつくります。



Q & A

クルマの運転ができない人の移動をサポート

LRTとルートが重なるバス路線を郊外部などに割り振り、バスの本数やコースを増やすなど、公共交通を充実させ、クルマの運転ができない人の移動をサポートします。



通勤しやすい環境づくり

移動の選択肢が増えることで、通勤手段も状況に応じてスムーズになります。働きやすい環境となることで企業から選ばれ、経済が持続的に成長するまちになります。



市の財政が安定し、暮らしやすいまちが実現

LRTを中心とする公共交通の充実・強化をきっかけに消費が維持される仕組みを備えたまちは、企業の活動も活発になり税収が安定し行政サービスも充実します。人口減の社会の中でも、子育てや教育などのサービスを提供しつづけることができ、より暮らしやすいまちが実現します。

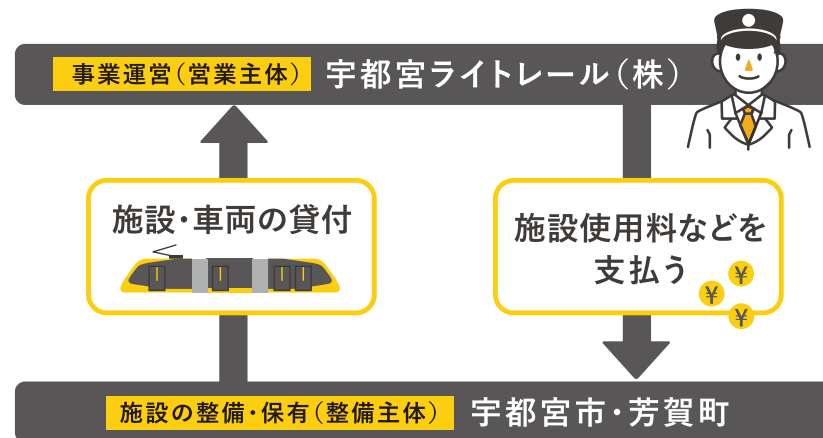
LRT事業に寄せら

Q LRTの運営は誰が行うの？

A LRTの運営は、行政と民間が出資した宇都宮ライトレール株式会社が担います。芳賀・宇都宮のLRT事業は地方の公共交通の充実・強化を図るために国が設けた「公設型上下分離方式」という仕組みを採用することで運営と整備の役割を分担します。

「公設型上下分離方式」とは

道路や公園などと同じく軌道などの施設や車両を行政が整備・保有し、民間事業者が運行を担う仕組みです。行政と民間で得意な分野を分担することで、効率的な事業運営を可能にし、安くて質の良いサービスの提供を実現します。



Q LRTの利用者数(需要予測)は、どれくらいを見込んでいるの？

A JR宇都宮駅東側区間のLRT利用者数は段階的な調査を重ねながら、「県央広域都市圏生活行動実態調査」結果を用いた需要予測を行い、行き・帰りで平日約1万6千人を見込んでいます。

JR宇都宮駅東側区間のLRT利用見込み人数

区分	通勤	通学	業務	私事	合計
平日	13,357人	1,305人	274人	1,382人	16,318人
休日	2,671人	131人	82人	2,764人	5,648人

「県央広域都市圏生活行動実態調査」とは

鉄道等の公共交通整備に用いる「パーソントリップ調査」に類似する人の移動を対象とした調査で「どの交通機関が」「どのような人によって」「いつ」「どのような目的で」使われているかを調べることができます。



Q LRT運営の収支はどの程度なの？

A 「公設型上下分離方式」を用いるLRT運営は、人口減少社会を見据えた利用者数見込みや人件費・物価の上昇、民間路面電車事業者の実績等を反映した収支計画から見積もって年間約1.5億円の黒字を見込んでいます。(需要が定着する開業4年目の見込み)



LRTだけ…じゃなくて!!

質の良いサービス提供や利用しやすい料金設定、他の移動手段との乗り換え施設の整備などを進めるLRT事業とあわせて、交通ICカードを用いた市内路線バスの運賃支払いや運賃上限制度の導入を検討するなど、LRTだけではなくバスや鉄道などを含めた公共交通ネットワーク全体の充実を図っていきます。

れる主な質問 (2021年12月時点)

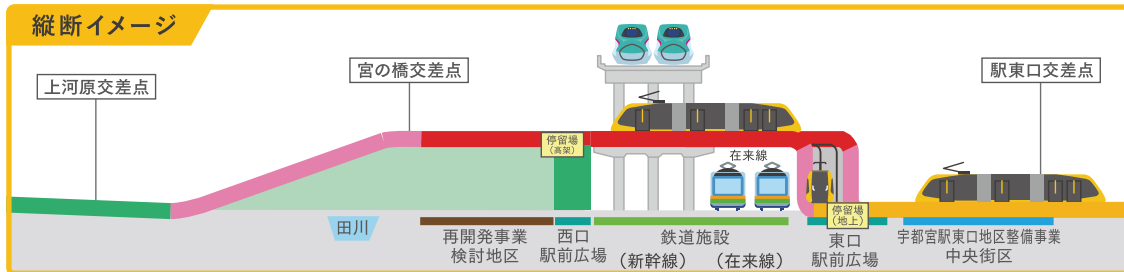
Q LRT導入後、クルマの車線や流れはどうなるの？

A LRT導入区間の一部ではクルマの車線が減ることになりますが、LRT導入区間周辺の道路ネットワークの整備に計画的に取り組むとともに、導入区間では自動車交通に配慮した信号点灯サイクルの調整や交差点の改良を行うことで円滑な交通の確保を目指していきます。



Q LRTの車両は、JR宇都宮駅をどのように横断するの？

A LRTの軌道(レール)を高架化し、駅ビル北側の新幹線高架(駅舎3階部分)と在来線(駅舎1階部分)の間(駅舎2階部分)を横断します。



Q LRTは、JR宇都宮駅西側区間も通るの？

A JR宇都宮駅西側のLRT整備は、計画区間である「桜通り十文字付近」からのさらなる延伸を含めた「大谷観光地付近」までの5つの区間について検討しています。道路管理者や交通管理者、交通事業者等の関係機関との協議や沿線商店街との意見交換などに取り組みながら、引き続き、事業化に向けた調査・検討を進めていきます。



→ 直接、説明を聞きたいなら

交通未来都市うつのみや オープンスクエア



LRT事業に関する情報を、パネルや映像などで分かりやすく発信しています。話題のVR(バーチャルリアリティ)による、LRTの疑似体験も可能!フェイスブックでも情報公開中!

交通未来都市うつのみやオープンスクエア

場 所/ベルモール1Fインフォメーション裏手
開館時間/10:00~19:00(年中無休)

ペーパークラフト配布中!



1
170
縮尺



もっと知りたい!
LRT事業のこと、



→ いつでもLRT情報を知りたいなら

u-movenext.net ホームページ

区間ごとの工事情報をホームページで見ることができます。

また、LRTに関する最新ニュースや動画も掲載しています。



→ LRT事業を応援する!!

チーム ネット

team NEXT

team NEXTは、口コミによる情報発信などで、宇都宮の未来や私たちの将来を盛り上げていく市民応援団。個人・団体を問わず、どなたでも参加いただけます!!

[活動内容]

- ・口コミやメンバーのSNSなどで情報発信
- ・メンバーのお店や事業所内にパンフレットやチラシを設置
- ・LRTの開業に向けて宇都宮を盛り上げてくれる活動、大歓迎

メンバー参加で オリジナルグッズプレゼント!



[申込方法(いずれか)]

- ①「交通未来都市うつのみやオープンスクエア」(ベルモール1階)で
- ② u-movenext.netの申込フォームで
- ③ 宇都宮市役所(LRT企画課 協働広報室)で



目指すまちの姿

スーパースマートシティ

「スーパースマートシティ」は、100年先も発展し続けるまちの姿「NCC」を土台に、「地域共生社会」(社会)、「地域経済循環社会」(経済)、「脱炭素社会」(環境)の3つの社会が、「人」づくりの取組や「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」です。

もっと詳しく



インフォメーション



持続可能なまちづくりの基盤

ネットワーク型コンパクトシティ (NCC)

人口減少、少子・超高齢社会に対応できるよう、これまでの都市の成り立ちを踏まえ、中心市街地に加え、それぞれの地域拠点などにまちの機能を集約し、それらが鉄道やLRT、バス、地域内交通などの利便性の高い公共交通ネットワークなどでつながる、いつまでも暮らしやすい都市の姿です。

もっと詳しく



公共交通がより便利に 地域連携ICカード「totra」



バス・LRT・鉄道などの運賃支払いに加え、高齢者外出支援などの地域独自サービスも利用できるICカードです。公共交通を使った移動が、よりスムーズ・快適になることを目指し、「総合的(total)に輸送(transportation)をつなぐICカード」としてネーミングされました。

もっと詳しく



SDGsの達成にも貢献

SDGs未来都市

本市のSDGsの達成に向けた取組が、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発目標を実現するポテンシャルの高い都市として評価され、内閣府より「SDGs未来都市」に選定されました。公共交通のさらなる利用促進を図ることで、地球環境に優しく、外出機会の増加による健康増進や人の交流を通じたまちの賑わいの創出につなげるなど、一人ひとりがSDGsの達成に貢献する持続可能なまちづくりを進めています。

もっと詳しく



未来を見据えた
まちづくりに
取り組んでいます！





またのご利用をお待ちしています。



LRT事業の最新情報は公式サイトで

MOVE NEXT 宇都宮 🔍



UD FONT

主に8ポイント未満の文字に、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。